

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月24日		記入者		連絡先 2687
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義
事務事業名	障害者入浴サービス事業				
予算上の事務事業名	障害者入浴サービス事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11310	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施策名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
身体障害者福祉法 相模原市障害者入浴サービス事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市障害者福祉計画		障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画（前期10～14、中期H15～18、後期H19～22）		
計画年次	10	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何の目的に行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
市内に居住する重度障害者（身体障害者手帳1・2級及び療育手帳A1・A2、以下「重度障害者等」という。）で、家庭において入浴が困難な方（介護保険給付対象者を除く）に対し、入浴サービスを提供することにより、重度障害者の福祉の増進を図る。			重度の身体障害児者及び知的障害児者で総合利用登録をした者		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
在宅において入浴が困難な重度障害児者に対し、訪問入浴サービスを行う民間事業者に委託をし、事業実施した。 平成17年度実績 ・登録者数 42人 ・延べ実施回数1,561回（うち、入浴：1,553回、清拭：4回、健康チェック：4回） 平成17年度決算（千円） ＜内訳＞・委託料 7,407,600円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	8,886	7,820	7,407	13,880	17,674
一般財源	831	4,793	4,484	7,960	10,136
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	8,055	3,027	2,923	5,920	7,538
人件費の合計	166	166	166	166	166
事業コスト合計	9,052	7,986	7,573	14,046	17,840
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	障害者入浴サービス			対象名称と単位	登録者数(人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	9,052	7,986	7,573	14,046	17,840
対象数	36	42	42	48	58
単位あたり経費(円)	251,444	190,143	180,310	292,625	307,586
前年度比		0.76	0.95	1.62	1.05

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	入浴サービスの受給率	指標式と指標の説明	入浴サービス登録申請人数／登録者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	36.0	42.0	42.0		
目標	36.0	42.0	42.0	48.0	48.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	入浴サービスの利用率	指標式と指標の説明	入浴実施延数／（登録者数×年間52週（年末年始除く））		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	63.1	74.8	71.5		
目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度（%）	78.9	93.5	89.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		障害者が施設ではなく地域の中で安心して生活できる社会が求められる中で、本事業は、在宅で生活する重度障害児者の福祉の増進を図るのに有効である。見直しを行う必要性であるが、既に入札により民間委託しており、更にコスト削減に努め事業を継続したい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
現在、概ね週1回しか入浴サービスを利用できないが、夏場（7月～9月）に週2回実施することによりサービスの質を向上させるとともに、利用率を高めることにつながると思われる。また、市町合併に伴い複数の事業所と委託契約を結んでいるが、同一の事業所にすることで、コストの削減が期待できる。			・入浴サービスの質の向上 ・委託契約事業所の選定方法		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			